

札幌学院大学バリアフリー委員会

第5号

バリアフリー通信



☆手話合宿☆

8月10日と11日の二日間、今年も例年と同様に、手話のレベルアップと参加者の交流のために定山溪ホテルミリオナーズで手話合宿がありました。参加者は去年とほぼ変わらず、39人でした。



手話合宿大復習会

ホテルに着いてからまず始めに手話の大復習会を行いました。

大復習会は全体で手話合宿のしおりを使用し、前期の手話勉強会で学んだ様々な手話を表現しました。内容は一文につき一人が全体の前で表現し、それを参加者が繰り返したというものでした。「私の名前は〇〇です」などの基礎編から、「今日は手話合宿です。みなさん手話を使って楽しく会話しましょう」といった応用編の計16項目を行いました。それぞれが楽しく手話を復習していました。
(文責 宇都莉奈)



手話カルタ

大復習会の一環として「手話カルタ」を行いました。ルールは、カルタの読み手が単語を声なしで手話で表現し、読み手が表現した単語の手話が表現イラストで描かれごとに分かれ、それぞれカルタを取り合い楽しんでいました。

(文責 平大樹)



♪企画1日目夜♪

アトムゲームZ

夕食後に、5つのグループに分かれて企画を行いました。最初の企画は、「アトムゲームZ」でした。ルールは、まずグループの1人が質問者として、問題の書かれたくじを引きます。質問者はグループの中から解答者を指名して、くじに書かれた問題の内容を手話か指文字で解答者に伝えます。解答者は問題に対して、手話か指文字で解答します。正解すると、解答者が次の質問者にチェンジします。問題のレベルは初級・中級・上級・ヤバイに分かれており、5分間で正解した分の点数をグループごとに競うというものでした。どのグループも問題を伝えるのに苦戦しながらも、必死に伝えようとする姿に、見ている人たちも一緒に楽しんでいるように見受けられました。



(文責 坂本直)



みんなでそろえようゲーム

二つ目の企画は皆でそろえようゲームです。グループの全員がみんなの前に一列に並び、グループの代表者は、お題の書かれたくじをひきます。そして、15秒間そのお題から連想される、ジェスチャーを考えます。その後、グループの人たちはアイマスクをして、その連想した、ジェスチャーをします。グループの中で同じジェスチャーをした人の数を数えて、その中で一番多くそろった人数に応じて点数が入ります。難しいお題もあれば、簡単なお題もあり、独特な表現をしている人もおり、笑いが起きる場面も多々ありました。

(文責：大場崇士)



手話コーラス・手話劇

手話合宿の最終イベントとして恒例の手話コーラスと手話劇が行われました。手話コーラスでは、サクケの「青いベンチ」と奥華子の「変わらないもの」が披露され、手話劇では、バリアフリー委員会6つの部を紹介するバラエティードラマが公演されました。

限られた練習時間の中で完成を目指し、全員で努力しました。歌の世界観を手話で豊かに表現して伝えるという方法や、手話を使うと同時に演技することの難しさを学ぶ良い機会となりました。

(文責 林拓弥)



♡ I Love BF ♡



今回の「I Love バリアフリー委員会」は、初めて手話合宿に参加した人を代表して下條晃弘さん（人文学部1年）、平大樹さん（人文学部1年）、石井建雄さん（人文学部1年）の3名に集まっていただき、お話を伺いました。

清水：今回のI Love BFは、初めて手話合宿に参加した人を代表して、これから手話合宿について聞きたいと思います。まず、なぜ手話合宿に参加しようと思ったか。

下條：理由は特にはないのですが…。参加してみて、合宿の放つ魔力のようなものを感じました。いつものBFのメンバーのノリとは違うのでびっくりしました。皆明るくて楽しくて良かったと思います。

平：まずBFに入った時から、先輩から手話合宿があるよと聞いたので参加したのがきっかけです。

石井：理由とは言えませんが、催促のメールが来て、行ってみようかなと思ったのです。参加費は少し高いかなと思いました。



清水：じゃあ次、手話合宿に参加して一番楽しかったことは？

下條：そうですね、やっぱり一番楽しかったのは、談話室ですね。皆で雑談してお菓子とか食べて、夜遅くまで起きてて、色んな話して、悩みとかあったりして、それを話してスッキリしたとか、徹夜した後寝た後の爽快感とか、そういうのも楽しかったなと。

平：やっぱり、夜中先輩達と一緒に色んなことをしたのが楽しかったです。

石井：真剣に手話に向き合えたというか……。そうですね。正直楽しい思い出というよりは、食って吐いてぶっ倒れて、結局何だかんだ朝まで起きていて、あとは語りの会で、真剣に僕らの話とか、皆の手話のアツイ話を聞いてよかったというか、僕もそれを見習わないとなと。ざっくり言えば、手話合宿来年も出たいなと思いました。

清水：手話合宿に参加して、一番勉強になったなって言うエピソードは？

下條：やっぱり語りの会が一番。色んな人が意見をもっていて、ああいう見方ができるとか、そういう意味でよい意見交換が出来たと思います。

平：自分も語りの会で手話ブースだったんですけど、皆が手話をどう思ってやっているのか聞けてよかったです。それ以外にBFの人の人間性とかわかってよかったです。



石井：本当に、なんででしょうね。参加したこと自体が勉強でしたね。先輩達の色んな話を聞いて、勉強になりましたし、語りの会で、皆が色々な意見を持っているんだとか、夜中に先輩達との交流を深めるのも勉強だと思うんですよ。これからもここで過ごしていくと思うので、合宿だけではなく、ずっと勉強です。

清水：最後に来年に向けて、手話合宿を宣伝してください。

石井：人生だよな！

下條：1~4年まで、こんなに集まる機会はないし、まじめにできるのもこういう時ならではの、今は集まる機会が分かれてしまっているの、こういう機会を大事にして、ぜひ次も色々な人に参加していただけたらと思います。

平：手話合宿で手話も沢山学べるし、BFに入りたての1年生は知らない人が沢山の、行きづらいかもしれないけど、行ったら優しくしてくれるし、是非来年も参加して欲しいなと。

石井：まず、どんなに美味しい物が沢山あっても食べ過ぎはよくない。それを後輩達に言いたいです。そして今後後輩の1年生とワイワイ話せるのを心待ちにして、皆本当に沢山の学年が集まって、交流したりとか、実際そんな、アホな話とかこういう場でしか出来ないと思うんですよ。こういう場から交流が生まれて、次へのつながりが出来てっていう。大学はつながりが大事で、それを作る場所なので、皆さんぜひ参加して欲しいです。あと、最低2時間は寝ましょう。

平：手話コーラス死ぬかと思った。

清水：ありがとうございました。なにかありますか？これが言いたいとか。

石井：ダメっすね食べすぎは。俺ぐらいか。

清水：大丈夫？

石井：そうですね、ぜひ手話合宿の係を何かやりたいですね。1年生に合宿の楽しさを伝えるために、BFを後世につなげるために、大事だと思うので頑張ります！



清水：以上で終了します！お疲れ様です！



取材：清水愛理
記録：藤田和真
撮影：阿部直也



☆編集後記☆

- 宇都莉奈：初めての文責は大変でした。次も頑張るぞー（・▽・）
- 坂本直：初文責でした！推敲おつかれさまでした！！
- 下條晃弘：合宿また行きたいなー
- 平大樹：ようやく推敲・編集に参加しました。一応広報部員です。
- 石井建雄：食べすぎは良くないよね。
- 大川真奈：推敲お疲れ様でした！写真見てたら手話合宿うらやましくなるなー。
- 清水愛理：手話合宿も、I♥BFもめっちゃ楽しかったです!!そして推敲も!!
- 山口順也：久しぶりに推敲楽しかったー。
- 阿部直也：手話合宿の楽しさが伝わればいいと思います！！お疲れ様でした！！
- 鈴木彩佳：今年度初めて参加しました。新しく入った方が多くてびっくりしました。
- 藤田和真：インシテミルおもしろい。
- 柄澤睦美：初めて参加しました。書きなおしただけですけど…楽しかったです。
- 飯塚大輔：半年ぶりに広報部の仕事しましたー